

大久保北部遊休地の利活用に向けた取組について

大久保北部遊休地の利活用に向けた取組については、これまでも市の長期的な課題として有効な利活用方策を検討してきたところです。

現在、NEXCO 西日本において、神戸西バイパス延伸に伴う第二神明道路への接続事業が進められており、大久保北部遊休地を含めた周辺地域のさらなる発展の可能性が出てきているところです。

そのような中、下記のとおり、NEXCO 西日本から工事で発生する土砂の受け入れの提案がありましたので報告します。

1 神戸西バイパス延伸事業の現状

第二神明道路へ接続する延伸事業として、神戸市西区の永井谷ジャンクションから石ヶ谷ジャンクション(仮称)までの約6.9kmの区間の整備が、令和6年度末の供用に向けて進められています。同事業における明石市関連事業として、NEXCO 西日本は石ヶ谷ジャンクション整備に必要な側道整備や第二神明道路を拡幅するための公園墓地橋の架替を計画しており、併せて、橋の架替のための迂回路(工事用南北道路)整備も計画しているところです。なお、これらの側道や迂回路については、事業完了後も引き続き、市道として供用する予定です。

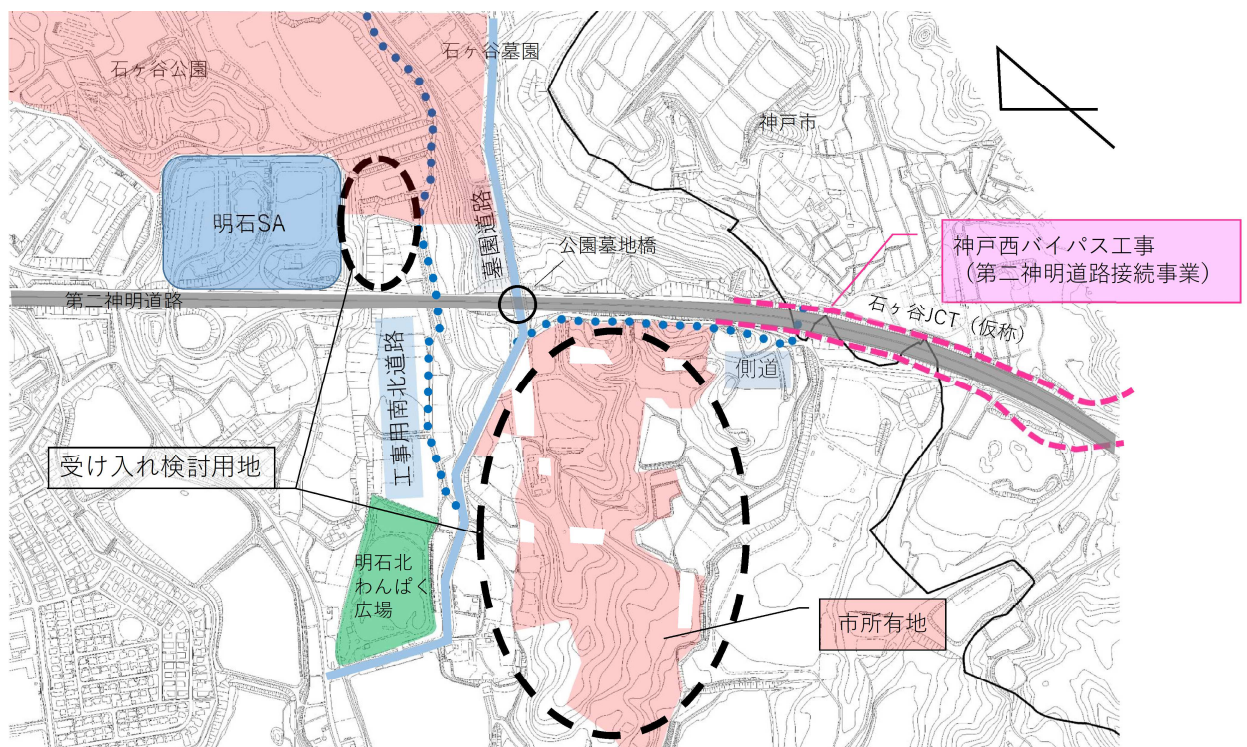
2 NEXCO 西日本からの土砂受け入れの提案

(1) 提案内容

神戸西バイパスの延伸事業により発生する土砂の受け入れについて、次のとおり提案がありました。

- ① 事業により発生する土砂の大久保北部遊休地への受け入れ
- ② 土砂搬入時期は令和4年度からを希望

(2) 概要図



(3) 提案への今後の対応

NEXCO 西日本は、事業の円滑な推進を図るため、本市遊休地への土砂搬入について、強い希望を持っているとのこと。

本市としては、このたびの提案を受けて、まずは、遊休地の利活用について、スマート I C やアクセス道路の整備を含めた大久保北部エリア全体の活性化等の事業効果や、市街化調整区域における開発手法や生態系への配慮などの課題等を十分に整理したうえで、土砂受け入れの可否等について検討を進めたいと考えています。

効果	
課題	<ul style="list-style-type: none">○ 長期的課題である遊休地の利活用<ul style="list-style-type: none">・ 市民の利便性向上や市民サービスの充実・ 地域の賑わい創出・活性化・ 雇用の創出や地域経済への貢献○ スマート I C ・アクセス道路と同時に整備することによる相乗効果 <ul style="list-style-type: none">○ 市所有地の区域内に私有地が点在し、境界が未確定であること○ 市街化調整区域での開発手法○ 墓園道路の公道化（境界確定など）○ 自然環境との調和や生態系への配慮